

みんなの “潤滑油” でありたい。

今回、伊藤也は山中温泉医療センター（石川県加賀市）を訪ね、診療支援室で働く小才度美子さん、診療支援室を充実した管理者で、内科医の嶋崎正晃さんに話を伺いました。



外科の吉田医師の言葉を聞き漏らさないようにメモする小才度さん。

医師は医師しかできない
仕事に専念できるような支援

伊藤 山中温泉には初めて来ましたが、緑が多くて、癒やされますね。
小才度 冬は雪深くてたいへんですが、この時期はとくに過ごしやすく、いいところですよ。

伊藤 山中温泉医療センターは南加賀の地域医療を担っているとのことですが、他にもれず、医師不足の問題が深刻だと伺っています。

小才度 当院の年間外来患者数は約2000人で、一般病棟が119床、回復期40床、療養40床を10名の医師で診ています。二次救急の指定病院として「断らない医療」を実践しているのが、医師の負担は大きいと思います。
伊藤 患者数を考えると、医師10人ではとても足りないですよ。

小才度 一時期、医師が7人まで減ったこともありましたが。

伊藤 それは大変でしたね。今回、こちらに取材に来たのは、医師不足の打開策として、看護師を中心に新しい試み始めたこと聞いたからですが、それが「診療支援室」なんですよ。

小才度 はい。診療支援室は2009年4月にでき、4名の看護師が診療支

医師不足という逆境から生まれた「診療支援」という知恵。看護師の新たな可能性を秘めた画期的な試みだと思う。

援員として動いています。「医師は医師にしかできない診療に専念できるように、それ以外の業務は支援員が担う」。これが診療支援室の基本的なスタンスです。
伊藤 具体的には、どのような活動をされているのでしょうか。
小才度 医師の指示と確認のもとで、主治医意見書、診療情報提供書などの書類を作成したり、内服薬やルーティン検査などのオーダーをしたりしています。ほかにも退院支援や訪問看護にも関わっています。

ベテラン看護師であれば 代行業務も可能と判断

伊藤 結構、幅広く活動されていますね。看護師の業務内容については、保健看法（保健師助産師看護師法）で規定されていますが、それに則って、医師の裁量権の範囲で代行業務という形をとれば、看護師はいろいろと動ける。こんな画期的なアイデアを考案したのは、どなたですか？
小才度 嶋崎医師です。

伊藤 すばらしいですね。
嶋崎医師 ありがとうございます。ただ、確かに、言い出したのは私ですが、それは当院の看護師に医師の代行業務がこなせる、それだけの素地があった

からに他なりません。手前もそになります。当院の看護師の看護の質、看護能力はとて高い。そこで一歩踏み込んだ業務まで看護師に求めてもいいのではないかと、そう考えたんです。
伊藤 診療支援員の小才度さんは、臨床経験が40年近くなる、ベテランの看護師さんですよ。このように、看護師さんのなかでも、とくに経験が豊かな方を診療支援員に抜擢したのは、やはりそれなりの看護経験が必要と判断されたからですか？
嶋崎医師 そうですね。診療支援員には、カルテのなかから書類に必要な要素を適切に抜き書きし、きちんとしたアセスメントできる能力が必要です。これは経験のある看護師でなければダメだと思いました。

伊藤 クラーク（医療事務）にカルテ代行業務を担当させる試みを始めている施設もありますね。

嶋崎医師 私は、医療の専門用語を幅広く知っていることも業務を遂行するための条件の一つだと思っています。やはり看護師が適切だと考えています。伊藤 「用語」と「行為」と「現場」がつかないといけないんじゃないでしょうか。

嶋崎医師 入院された方は何歳の男性（女性）で、訴えはこうで、経過はこう。診療や検査ではこんなことが分かった

Profile

山中温泉医療センター
診療支援室長
小才度 美子さん



金沢大学医学部附属看護学校卒。山中温泉医療センター-外科、内科病棟（部長）を経て、2009年4月から診療支援室室長に。現在は外科病棟を担当するほか、健診コンシェルジュ調整、訪問看護、NCO登録、書籍代行業務（主治医意見書、診療情報提供書、各種指示書、他科紹介、医師退院タマリー代行）などを行う。



患者主体の医療や、医療安全をもたらす小才度さんたち診療支援員をこれからも応援していきたい。



診療支援室と診療支援員の皆さん。

伊藤 ところで、はじめは躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

「看護師さん」ではなく「看護師さん」ではなく、名前が呼ばれたことに、感動

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 小才度さんは、こうした診療支援室の話をもっと聞きたいです。

医師不足の今、看護師の力が必要

「こんなふうには患者さんを言語化したものがカルテですが、そのカルテをただ読んで患者さんの状態がイメージできなければ、医師の支援は難しいです。」



「診療支援」を考えた嶋崎医師。



小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

転載 二次使用禁止

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

患者の状態を5つに評価 介入する範囲を決めている

「①生死に関わる②持続的に痛い③時々痛い④快・不快⑤好き・嫌い」というもので、このうち①②③は医師が、④⑤は診療支援員が対応します。



嶋崎医師 病院では入院患者さんの状態を5つに評価しています。それは、「①生死に関わる②持続的に痛い③時々痛い④快・不快⑤好き・嫌い」というもので、このうち①②③は医師が、④⑤は診療支援員が対応します。

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？



伊藤 也 (いとうしゅんや) 写真家・医療ジャーナリスト 医療情報研究所代表 患者中心の医療を実現するための医療ジャーナリストとしてテレビや雑誌などのメディアで活動中 ホームページ shunya-bo.tv



外科 吉田政之助センター長 外科医が2名から1名になった時期がありました。仕事量が2倍となるなかで、医師の質を落とさず、患者さんを守ることを最優先として、そんな苦闘を抱えながら、小才度さんとの二人三脚の業務。もちろん最終的には、医師である私の判断にはなりますが、私の診療に対する考え方、方針を熟知している上で、さまざまな業務を担ってくれる。今では欠かせない存在ですね。

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

小才度 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

嶋崎医師 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？

伊藤 そうですね、最初は躊躇した診療支援員という業務、実際に携わってよかったですか？